

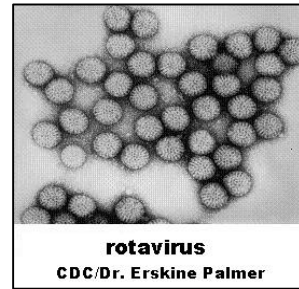
山口県感染症発生週報

(第13週:平成24年3月26日～4月1日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第10週追加:1例(山口)。第11週追加:1例(周南)。第12週追加:3例(下関2例、山口)。



rotavirus
CDC/Dr. Erskine Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ◆インフルエンザ: 患者報告数は8週連続して減少しています。迅速検査では、A型陽性70例、B型陽性94例、臨床診断11例で、B型がA型を上回りました。萩は2週続けて増加しており、今週再び注意報レベルになりました。【注意報レベル=萩(新)】※
- ◆RSウイルス感染症: 長門は他地域と比較して多くみられます。
- ◆感染性胃腸炎: 例年と同程度ですが、特に、周南、山口は他地域と比較して多くみられ、周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(3週目)】※
- ◆伝染性紅斑: 周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(11週目)】※
- ◆流行性耳下腺炎: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(17週目)】※
- ◆マイコプラズマ肺炎: 報告数が多く15例でした。全国的にも例年と比較して多い状況が続いていますので注意が必要です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/ivoho/report2011/keihotvuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	11週	12週	13週	疾患名	11週	12週	13週
インフルエンザ	333	195	175	百日咳	0	0	1
RSウイルス感染症	48	64	42	ヘルパンギーナ	1	2	4
咽頭結膜熱	5	11	6	流行性耳下腺炎	38	53	42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	117	112	94	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	537	589	532	流行性角結膜炎	1	2	2
水痘	65	75	68	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	1	0	0	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	21	11	18	マイコプラズマ肺炎	6	6	15
突発性発しん	31	32	27	無菌性髄膜炎	0	0	1

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	49	14	10	16	1	17	11	23	34	175
RSウイルス感染症	9	8	0	1	4	2	8	8	2	42
咽頭結膜熱	2	0	0	2	0	1	1	0	0	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	10	5	18	0	15	14	0	7	94
感染性胃腸炎	99	39	19	167	19	78	80	9	22	532
水痘	10	11	8	7	6	10	15	0	1	68
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	14	0	1	2	1	0	18
突発性発しん	9	0	1	7	1	6	1	1	1	27
百日咳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ヘルパンギーナ	0	0	0	2	0	0	1	0	1	4
流行性耳下腺炎	14	0	3	6	1	2	0	16	0	42
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	1	0	6	5	0	2	0	0	15
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

3 その他

・ロタウイルスによる胃腸炎の報告が多い状況です。例年4月頃に多くなっていますので、引き続き注意が必要です。